

α -Amylase *Ultrapure*

I. 製品説明

本品は、 α -1,4-グルコシド結合を加水分解する酵素です。試料中のデンプンを効率的に液化することから、デンプンを多く含む試料からの DNA を抽出する際のサンプル前処理に非常に有効です。

II. 保存

-20°C

III. 活性定義

1%可溶性デンプン 1 ml に対して酵素溶液を加え、40°C、10 分間反応させ、よう素呈色法にて 660 nm の吸光度が 1%低下する酵素量を 1 unit とする。

IV. 起源

Bacillus subtilis

V. 形状

10 mM Tris-HCl (pH 8.0)
10 mM CaCl₂
50% Glycerol

VI. 酵素反応条件

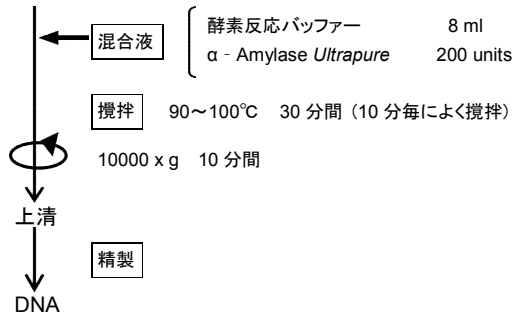
30 mM Tris-HCl (pH 8.0)
500 mM NaCl
10 mM CaCl₂
5 M Urea
5% Tween 20
0.5% Triton X-100

VII. 純度

本酵素 30 units と 1 μ g の λ HindIII フラグメントを 37°C、16 時間反応させてもアガロースゲル電気泳動パターンに変化は認められない。

VIII. 使用例

液体窒素により粉砕したスナック 0.8 g



<参考>

α -Amylase *Ultrapure* は最適 pH が 5~9 と非常に広い範囲のため、反応後の実験系に合わせた組成で反応させることができます。酵素反応条件とは異なる組成でご利用になる場合には、下記の点にご留意下さい。

- 1) α -Amylase *Ultrapure* は Ca²⁺ (終濃度 1 mM 以上) の存在下で安定。
- 2) Urea, Tween 20, Triton X-100 の添加によって、より少ない酵素量でサンプル処理が可能。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。